

地域づくり	区への加入について	加入については、個人の意思を従来どおり尊重する 新規移住者 転入者に対して積極的に情報提供を行う 未加入者が多い地区は「区の新設」又は「新住民だけの常会」を設定したらどうか 新住民の相談窓口設置 新住民(風の人)と昔からの住民(土の人)の交流の場をつくっていく
	地区防災組織について	各地区別の話し合いを実施する 行政区とは別のもので組織作りを行う 区未加入者の防災組織を育成する 区未加入者からも自主防災経費を徴収する
	町による住民活動・ネットワークづくりへの支援	コミュニティ・プラザを拠点とした展開
	「町づくり区」の設定	現在の区組織は残しながら、もう少し大きな単位でのまちづくり組織をつくる
	地域づくりのための新しい取り組み	地産地消 自給自足のまちづくり 地元企業との関わりを行政が仲立ちする新しいふれあいの場 遊休地、荒廃農地の利活用 集落子ども会と高齢者クラブの連携を積極的に行う 地元学の推進 公共施設の管理運営に地元地区を活用する
環境保全 生活環境	開発の仕組みや体制整備	環境保全条例の改正 自然環境と住宅エリアとの区分け、開発誘導 農地と住宅エリアを区分する
	美しい富士見町	景観形成条例の策定を行う 富士山を活用する アダプトプログラムの導入
	ごみ問題	ごみ政策 ごみの減量化を図る ごみ処理計画(灰溶融施設)の見直し 自家焼却による家庭ごみの処理を取り締まる
	地球環境	温暖化防止
	水環境の保全	下水道事業の見直し 河川等の浄化をすすめる
産業振興 地域活性化	産業振興全般	専門職 専門機関の設置 育成 中心産業を軸とした産業のピラミッド化 行政によるインターメディアリー機能(中間支援組織、仲介)の充実
	商業の活性化	富士見駅前、駅前商店街の活性化 補助金、制度資金の見直し
	工業の活性化	手工業の後継者対策
	観光の活性化	パノラマスキー場の活性化策 住民意識の向上(おもてなしの心) 行政による誘客、セールスの実施 特定の人を対象とした交流 情報発信
	農業・林業の活性化	遊休農地対策 農村景観への配慮 農地の活用 山林 里山の整備 地域企業との協働
	地域の活性化	旧ホテルニューふじみ跡地周辺に温泉を掘削する
	移住者対策	イターン者 退職者を積極的に受け入れる 年齢層を絞ったイターン者の受け入れ
安心・安全 防災	安心・安全のまちづくりのための取り組み	各公民館、集落センター等の常時開館 高齢者、子ども、一人暮らしの「生活守り隊」 家庭環境 関係の改善(再掲) 「自分のことは自分で守る」教育の必要性 「危険をいち早く察知する訓練」の必要性
	防災に対する取り組み	有線放送の無線化 自主防災レベルの向上
行政運営 行政改革	パノラマスキー場に関して	守りの体制から、攻めの体制へ 風力発電施設を生かした事業展開 スキー場周辺の開発 スキー場閉鎖を考える 保証の無い130年先より、一度の負債で整理したほうが良いのではないか
	行政改革への取り組み	実現性の無い道路用地の処分 役場職員数の削減 人員の削減よりも人員の活用 特別会計、企業会計の独立採算制を図る 開発公社に外部監査制度を導入する
	行政運営	行政のIT促進 情報公開 財源確保 行政組織 委員会等の活性化 行政全般の住民理解を得るための努力を
	その他	職員研修、議員視察等への一般住民の参加 同行 ヘリポートの設置(10機規模) 未来会議の継続(再掲)

## 第4次総合計画策定の今後のスケジュール

住民説明会(計画の内容を説明する会)	5月～6月に開催
審議会(計画内容を町長が諮問し答申をいただく会)	6月～8月に開催
町議会 全員協議会他における説明・協議	6月～8月の間、随時実施
議 決	平成19年9月定例会

【お問い合わせ】 総務課企画統計係 ☎62-9332 ⑨9332